
IDE-JETRO
研究双書
No.541

アジアにおける 環境政策と社会変動

産業化・民主化・グローバル化

寺尾忠能・大塚健司編

アジア経済研究所

研究双書 No.541

寺尾忠能・大塚健司編『アジアにおける環境政策と
社会変動—産業化・民主化・グローバル化—』

Ajia ni okeru Kankyo Seisaku to Shakai Hendo: Sangyo-ka, Minshu-ka, Gurobaru-ka
(Environmental Policy in a Changing Asia: Industrialization, Democratization, and Globalization)

Edited by

Tadayoshi TERAO and Kenji OTSUKA

Contents

- Introduction Environmental Policy and Social Change in Asia
(Tadayoshi TERAO and Kenji OTSUKA)
- Chapter 1 Evaluation of Air Pollution Control in China: Examining Its Cost Effectiveness
and Cost of Implementation (Nobuhiro HORII)
- Chapter 2 Clean River Program in Indonesia: Controlling Industrial Wastewater
(Michikazu KOJIMA)
- Chapter 3 Development of Controlling Industrial Pollution and Its Problems in India:
Reexamining the Role of the Judiciary (Yuko TSUJITA)
- Chapter 4 Information Disclosure and Public Participation in Environmental Policy
Implementation in China: The Role of Public Supervision in Controlling
Industrial Pollution (Kenji OTSUKA)
- Chapter 5 Democracy, Decentralization and Environmental Policy in Taiwan: The Political
Economy of Decision Making and Enforcement (Tadayoshi TERAO)
- Chapter 6 The Dispute in Korea over the Construction of Dumping Grounds for
Radioactive Waste: Case Study of the Proposed PUAN Site (Koichi ISIZAKA)
- Chapter 7 The Role of R&D Support Schemes for Environmental Technologies:
Developing Desulphurization Technologies in Japan (Yasushi ITO)
- Chapter 8 Solid Waste Problems and Challenges for International Cooperation in Thailand:
Case Study of an International Cooperation Project in Southern Thailand
(Yoshifumi FUJII)
- Chapter 9 International Coordination of Environmental Regulations and Its Limitations:
Coordinating Environmental Regulations on the Automobile Industries in Japan,
EU and US, and Its Implications for Asia (Hideaki SHIROYAMA)
- Chapter10 Problems with the Recommendations of the World Commission on Dams and
Their Implications: Case Study of Multi-stakeholder Participation in
International Environmental Policy (Ryo FUJIKURA)
- Conclusion Implications and Future Tasks (Tadayoshi TERAO and Kenji OTSUKA)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 541]

Published by the Institute of Developing Economies, JETRO, 2005
3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan

目 次

まえがき

序 章 アジアにおける環境政策と社会変動 …寺尾忠能・大塚健司…	3
第1節 問題の所在…	3
第2節 先行研究と本研究のアプローチ…	6
第3節 本書の構成と論点…	13
第1章 中国における大気汚染対策の評価 ——費用効率性と政策実施コストの観点から—— …堀井伸浩…	23
はじめに…	23
第1節 現行の直接規制とその問題点…	26
第2節 現行の経済的手段とその問題点…	39
第3節 中国における望ましい大気汚染対策についての試論…	43
むすび…	58
第2章 インドネシアにおける河川浄化プログラムの実施過程 ——工場排水対策を中心に—— …小島道一…	69
はじめに…	69
第1節 環境担当省庁の設立と環境法の整備…	71
第2節 対象河川・企業を絞ったエンフォースメントの強化： PROKASIH …	75
第3節 排水対策に関する企業のレーティング： PROPER PROKASIH …	82
第4節 経済危機と河川浄化対策の建て直し…	87

まとめ	91
第3章 インドにおける工業汚染対策の展開と課題	
——司法積極主義に関する一考察——	辻田祐子…101
はじめに	101
第1節 汚染規制と執行	103
第2節 ケーススタディ	118
第3節 分析：司法積極主義下の市民社会の役割	127
おわりに	129
第4章 中国の環境政策実施過程における情報公開と公衆参加	
——工業汚染源規制をめぐる公衆監督の役割——	大塚健司…135
はじめに	135
第1節 情報公開と公衆参加をめぐる政策展開	137
第2節 監督検査活動の継続——上からの宣伝と動員——	141
第3節 企業環境対策状況に関する情報公開制度の試行	
——グローバル・モデルの中国化——	148
第4節 工業汚染源規制における公衆監督の役割と課題	154
おわりに	162
第5章 台湾における民主化，地方分権化と環境政策	
——政策形成過程と執行をめぐる政治経済学——	寺尾忠能…169
はじめに	169
第1節 産業化の進展と環境問題の発生，環境行政の展開	171
第2節 環境汚染の改善状況	174
第3節 環境行政部門による排出源に対する取り締まりの実効性	177
第4節 地方政府の環境行政部門の拡充	184
第5節 地方政府による環境政策と地方政治	188

第6節	反公害運動と地域社会の再生をめざす取り組み	199
第7節	まとめと展望	202
第6章	韓国における放射性廃棄物処分場建設問題	
	——2003年扶安候補地をめぐる——	石坂浩 213
	はじめに	213
第1節	韓国原子力産業と廃棄物の現状	215
第2節	扶安候補地をめぐる対立の経過	222
第3節	各主体の検討と今後の課題	233
	むすび	238
第7章	環境技術開発に対する助成措置の役割	
	——日本における脱硫技術開発の経験から——	伊藤 康 243
	はじめに	243
第1節	技術開発に対する助成措置をめぐる議論	245
第2節	大型プロジェクトによる脱硫技術の開発	248
第3節	大型プロジェクトによる乾式脱硫技術開発の波及効果	255
第4節	環境技術開発に対する助成措置は機能するか	263
	おわりに	267
第8章	タイにおける廃棄物問題の構造と国際協力の課題	
	——タイ南部での協力事例をもとに——	藤井美文 273
	はじめに	273
第1節	タイの廃棄物問題の現状とその構造	274
第2節	日本とタイの廃棄物処理の歴史にみる 廃棄物問題と社会構造の関係	288
第3節	タイの廃棄物問題の新たな解決手段と国際協力のあり方	296
	おわりに	304

第9章 環境規制の国際的調和化とその限界	
—日米欧における自動車関連環境規制の調和化と	
アジアにおける含意—	城山英明…311
はじめに	311
第1節 自動車関連環境規制をめぐる差異化と国際的調和化	
—日米欧の場合—	314
第2節 国際的調和化の背景とそのメカニズム	318
第3節 差異の持続	336
おわりに	341
第10章 世界ダム委員会勧告に残された課題	
—国際環境政策過程における参加問題—	藤倉 良…347
はじめに	347
第1節 WCD	349
第2節 WCD勧告	352
第3節 WCD勧告の技術的問題点	361
第4節 WCDのフォローアップ	369
第5節 まとめと考察	371
終章 本書のインプリケーションと今後の課題・展望	
	寺尾忠能・大塚健司…379

アジアにおける環境政策と社会変動

てら お 寺尾 忠能 (新領域研究センター環境・資源研究グループ)
おおつか 大塚 健司 (新領域研究センター環境・資源研究グループ)
ほり い 堀井 伸浩 (新領域研究センター環境・資源研究グループ)
こじま 小島 道一 (新領域研究センター環境・資源研究グループ)
つじた 辻田 祐子 (地域研究センター南アジア研究グループ)
いしごか 石坂 浩一 (立教大学経済学部助教授)
いとう 伊藤 康 (千葉商科大学商経学部助教授)
ふじい 藤井 美文 (文教大学国際学部教授)
しろやま 城山 英明 (東京大学法学部助教授)
ふじくら 藤倉 良 (法政大学人間環境学部教授)

—執筆順—

アジアにおける環境政策と社会変動

—産業化・民主化・グローバル化—

研究双書541

2005年2月21日発行©

定価 [本体4200円+税]

編者 寺尾忠能・大塚健司

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail syuppan@ide.go.jp

http://www.ide.go.jp

印刷所 安信印刷工業株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

ISBN4-258-04541-1

「研究双書」シリーズ

(表示した価格は税込み価格です)

528	島々と階級 太平洋島嶼諸国における近代と不平等 塩田光喜編 2002年 306p. 3570円	階級は死んだのか？ 現実には「否！」と答える。階級の根源をめぐって、太平洋から放たれる一条の閃光！
529	アフリカ経済学宣言 平野克己編 2003年 423p. 4935円	成長回帰分析、開発ミクロ経済学、人間開発論、債務論、HIV/AIDS等、開発経済学の理論的前線をアフリカ経済研究から描き出す邦文初の書。
530	アフリカとアジアの農産物流通 高根 務編 2003年 388p. 4515円	自由化のなかで、開発途上国の農産物流通はどう変わったのか。アフリカとアジア8カ国における政策・制度の変化と現状を、地域研究の視点から詳細に明らかにする。
531	新興福祉国家論 アジアとラテンアメリカの比較研究 宇佐見耕一編 2003年 391p. 4620円	ヨーロッパ中心の福祉国家論の視野をアジアとラテンアメリカに拡大。比較福祉国家論のなかに新興福祉国家を登場させたアジア・ラテンアメリカ地域研究者による注目の書。
532	アジアの金型・工作機械産業 ローカライズド・グローバリズム下のビジネス・デザイン 水野順子編 2003年 278p. 3150円	価格競争力を喪失した日本の金型・工作機械について、日本を含むアジアの比較優位と劣位を分析し、日本がアジアにおいて生き残るためのビジネスをデザインして提示する。
533	インドネシアの地方分権化 分権化をめぐる中央・地方のダイナミクスとリアリティー 松井和久編 2003年 284p. 3360円	地方分権化がインドネシアに増雲を漂わせている。分権化をめぐり中央と地方がせめぎあう現場では、い何が起り、また起きようとしているのか。綿密な現地調査をもとに、地方分権化で揺れるインドネシアの現状を徹底解明する。
534	国家・暴力・政治 アジア・アフリカの紛争をめぐって 武内進一編 2003年 510p. 5460円	ネーションステイト、暴力、紛争抑止などをテーマとする12の事例研究と理論的総説をもって、アジア、中東、アフリカで頻発する武力紛争を多角的に分析する。紛争研究の新たな地平を切り開く労作。
535	金融政策レジームと通貨危機 開発途上国の経験と課題 三尾寿幸編 2003年 324p. 3885円	金融政策と為替レート制度からなる「金融政策レジーム」の視点から、90年代以降の開発途上国における通貨危機やインフレーションを分析する。
536	金融グローバル化と途上国 国宗浩三・久保公二編 2004年 370p. 4305円	金融のグローバル化とはいかなる現象か、そうした現象が途上国経済に及ぼす影響は。マクロとミクロ双方の視点から近年の途上国金融問題を考察する。
537	インドネシアの経済再編 構造・制度・アクター 佐藤百合編 2004年 444p. 4935円	通貨危機と権威主義体制の崩壊を受けて混沌化するインドネシア。経済の市場化、民主化に向けた「制度改革の実験」はどこまで成功したのか。再編期を読み解くインドネシア経済論。
538	ファミリービジネスの経営と革新 アジアとラテンアメリカ 星野妙子編 2004年 423p. 4725円	度重なる経済危機と激しさを増す国際競争のもと、生き残りを模索するアジアとラテンアメリカの巨大ファミリービジネスの最新の姿を明らかにする。
539	カンボジア新時代 天川直子編 2004年 445p. 5040円	1993年の新生カンボジアの誕生から既に10年。国際関係と国内政治経済体制の劇的な変化の下で、カンボジア人々の暮らしはいかに変わりつつあるのか。詳細な現地報告。
540	国際経済参入期のベトナム 石田暁恵・五島文雄編 2004年 472p. 5250円	WTO加盟をめぐって国際経済への参入を深化させてつづるベトナム。市場経済化、行政改革、国際開発協力の現段階と立ち向かうべき課題を論じた地域研究報告。